

D 大学との連携による普及啓発、人材育成

愛知県

あいちITS大学セミナーの開催

(愛知県ITS推進協議会)

○目的と経緯

愛知県ITS推進協議会（会長：愛知県知事）では、愛知県内の大学生・大学院生に対するITSの認知度向上と、これからITSを担う人材の育成や産学連携につなげることを目的に、平成17年度から開催している。

○開催実績

年度	開催大学数	開催回数	受講者数
平成17年度	7大学	8回	456名
18年度	8大学	13回	1,227名
19年度	3大学	8回	845名
20年度	6大学	12回	1,143名
21年度	11大学	16回	1,355名
22年度	12大学	19回	1,392名
23年度	12大学	19回	1,274名
24年度	12大学	25回	1,461名

○内容

県内大学の教員（主に工学系と情報系）の協力を得て、授業のコマを提供していただき、ITSに関する研究や開発の最前線で活躍する協議会会員が講師となって、大学生・大学院生を対象に、ITSの概論から最新の技術動向まで多岐に亘るテーマの講義を実施している。

講義終了後にはアンケートを実施し、ITSの認知度・期待度、今後のITSや交通社会のイメージ等に関して、近い将来の自動車ユーザーとなる学生の意識を把握して協議会活動の参考としている。

実施に当たっては、企業関係者や大学関係者などの協議会会員からなるITS大学セミナーグループを設け、大学からの講義テーマの要望に対する講師の選定、効果的な講義手法の検討、アンケート内容の検討などを行い、より充実したものになるよう取り組んでいる。

○これまでに取り上げた主な講義テーマ

- ・ ITSの最近の動向と今後の課題
- ・ ITSを活用した未来のモビリティ社会
- ・ カーナビにおけるITSの先端技術
- ・ プローブ情報を活用した移動支援技術
- ・ ITSを使った安全運転支援技術
- ・ まちづくりにおけるITSの活用事例
- など

○主なアンケート項目と回答（平成23年度）

- ・ ITSの認知度
セミナーを受講する前からの「ITS」

の認知度（「知っていた」と「聞いたことはある」の合計）は、41%であり、セミナーで初めてITSを知った人が半数以上である。

・個別のITSサービスの認知度

カーナビやETCは大多数の人に認知されている一方で、VICS、バスロケーションシステム、安全運転支援などは既に実用化されているにもかかわらず、50%以上の方が知らなかったと回答している。

・近未来のITS新サービスへの期待度・関心度

安全運転支援やプローブ情報の活用、ETC決済の拡充への期待度・関心度が比較的高くなっている。

・ITSで最も重要なキーワード

「環境」、「安全」、「快適」の中から1つ選択してもらったところ、「安全」と回答した人が64%となり、安全な自動車や自動車社会への期待が高くなっている。

・若者の興味

「お金があったら何を買いたいか」という質問に対して上位3つを記入してもらったところ、1位は「車」が多く（約23%）、「車」を1位から3位までのいずれかで回答した人は半数近くを占めた。

○効果・展開

受講者を対象としたアンケートでは、多くの学生（23年度は85%）がこのセミナーをきっかけにITSに「関心を持った」と回答しており、大学側からも、ITS研究の第一線で活躍する講師による講義に対して高い評価をいただいている。また、協議会会員の取り組みの参考となるよう、アンケートの集計・分析を行い、その結果を会員に情報提供している。

ITS大学セミナーについては、本協議会の特徴的な取り組みであり、今後とも、産・学・行政の連携による人材育成を通じて、地域におけるITSの基礎研究や技術開発などのポテンシャルアップにつなげることを目指していく。

